

令和5年度 数学 科
教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス				単位数	分類	予定時数
Y数学Ⅱ②	数学Ⅱ	3	B				3	必修選択	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義・演習等
教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅱ, 数研出版
使用教材等	リンク数学演習Ⅰ・A + Ⅱ・B, 数研出版 ランダム演習 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B 数研出版

科目の目標・内容等

学習目標	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bを中心とした内容の復習を行うとともに、技能の習熟を図り、大学入試に対応できる力を培う。
学習における留意点	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの基本的内容を理解している。
予習・復習	予習を前提とした問題演習を行う。
評価方法	定期考査・問題演習・小テスト・課題等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B 1. 数と式 2. 集合と命題 3. 2次関数 4. 図形と計量 5. データの分析 6. 場合の数と確率 7. 図形の性質 8. 整数の性質 9. 式と証明 10. 複素数と方程式 11. 図形と方程式 12. 三角関数 13. 指数関数と対数関数 14. 微分法と積分法 15. ベクトル 16. 数列 17. 補充問題	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bについて、リンク数学演習approachに出題された基本問題の演習を通して復習を行う。basicに出題された基本問題の演習を通して定着を促す。	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bについての理解を深かさ、問題演習を通して、技能の習熟、授業における意欲等
2	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B 1. 数と式 2. 集合と命題 3. 2次関数 4. 図形と計量 5. データの分析 6. 場合の数と確率 7. 図形の性質 8. 整数の性質 9. 式と証明 10. 複素数と方程式 11. 図形と方程式 12. 三角関数 13. 指数関数と対数関数 14. 微分法と積分法 15. ベクトル 16. 数列 17. 補充問題	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bについて、リンク数学演習challengeに出題された問題の演習を通して入試問題の基礎と技能の習熟、ランダム問題 数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bを通して入試問題の演習できる技能の習熟を図る。	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bについての理解を深かさ、問題演習を通して、技能の習熟、授業における意欲等
3	応用問題演習	入試問題演習と解説を行う。	実践的な力を知識を身に付ける等

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。